

授業概要

「中国の歴史と民族」がテーマです。中国とその周辺地域の歴史を、まだ教科書には反映されていない、近年の研究成果を踏まえながら講義します。いわゆる「通史」という形ではなく、幾つかのトピックを取り上げる形で歴史過程を概説し、「民族」とは何なのかについて考えます。過去の制度や思考法は、現代に至るまでの間に失われたのか、残存しているのかを考えることを糸口に、歴史を踏まえた現代社会の再検討を、各テーマごとに試みます。まずは、現代の中国やその周辺地域で生活する人々の、文化や社会を知ってもらおうと思います。そして、その背景にはどういった歴史があるのかを考えていく形で講義を進めます。

授業計画

第 1 回	中国の環境と生活①：多様な環境と食文化
第 2 回	中国の環境と生活②：黄河流域の生活風景
第 3 回	中国の環境と生活③：言語と地理
第 4 回	モンゴルの環境と生活①：乾燥地域の環境と食文化
第 5 回	モンゴルの環境と生活②：遊牧民の生活風景
第 6 回	異民族と中国の王朝①：孵化王朝と征服王朝
第 7 回	異民族と中国の王朝②：長城を越える異民族
第 8 回	異民族と中国の王朝③：長江流域の生活風景
第 9 回	異民族と中国の王朝④：支配領域と黄河・長江
第 10 回	民族と意識①：「中国」が意味するもの
第 11 回	民族と意識②：華夷思想の包容性
第 12 回	民族と意識③：「中国人」は誰か
第 13 回	民族と意識④：「国民」とされる少数民族
第 14 回	民族と意識⑤：「台湾人」と「香港人」
第 15 回	民族と意識⑥：民主主義と国民意識
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・高校までの歴史教科とは異なり、おぼえることではなく「知る」こと、知ったことをもとにして「考える」ことを重視する、大学で学ぶべき「歴史学」の学びを、本講義の受講を通じて経験したと自覚できる。
- ・「中国とその周辺地域の歴史、そして文化や社会の一端を知ること、視点を相対化し、私たちが生活する日本を含め、現代の世界と社会を見つめ直す」。本講義を、以上を「意識」するきっかけとできる。

履修上の注意

受講条件は特にありません。東洋史に限らず歴史一般、歴史に限らず現代中国等に興味・関心のある学生の受講も歓迎します。また、高校までの歴史教科の基礎知識も求めません。歴史上の出来事や人物、歴史用語や年代を暗記する必要はありませんし、それらをおぼえることも重視しません。

予習・復習

読書・インターネットの閲覧・テレビ番組の視聴などを通じ、講義内容から生じた興味関心を深める（授業 1 回あたり合計 4 時間程度）、或いはそれに相当する時間を試験勉強やレポート作成にあてるのが、単位取得の目安となります。

評価方法

平常点 60 点、期末課題（試験）40 点で評価します。平常点は、毎回提出してもらったアクションペーパーの内容により評価します。

テキスト

講義で配布するプリントをテキストとします。参考文献は講義の中で紹介します。